

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ココカラ西五所		
○保護者評価実施期間	2024年12月15日		～ 2025年1月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 38
○従業者評価実施期間	2024年12月15日		～ 2025年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動のプログラムが固定化しないよう工夫しているか	4月から3月の1年間を通して感覚統合-療法に基づいた支援を計画している。その際に、粗大運動→下肢の運動→上肢の運動→微細運動や空間把握など、主たる目標を定めつつ、利用者の状況や人数に合わせて内容を変えながら取り組んでいる。	療育内容が深まるように研修等に励んでいる。「粗大運動だからマット」などの固定観念にとらわれないように、様々な道具を用いて研究的に療育に取り組んでいる。
2	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか	利用者の状況に合わせて時間が許す限り個別運動と少人数制運動を行っている。スタッフとの関係に終わらないように、個別運動の内容にも他者を交えて取り組むような活動を取り入れたり、体を動かすだけではなく、口の体操や論理的思考の整理、表情の読み取りなど、様々な活動を計画している。	個別運動の時間や少人数制運動の時間などを考えつつ、日ごとに時間割を柔軟に変えながら取り組めるようにプランニングしている。
3	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか	ブカツという選択的活動の時間を作り、こども達主体で取り組めるようにしている。また、その中でパソコンの技術を習得したり、新たな趣味を見つけたりと、人生が豊かになるように声かけや取り組みの応援をしている。	安全性の観点から取り組めないこともあるため、どのようにしたら安全に取り組めるか考え、環境の整備を行っている。また、機材の拡充などを行い、物がなければ出来ない等の機会損失につながらないように配慮している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用店員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか	限られたスペースの中でライフステージに分けた運動療育に取り組むため、学習と運動のスペースを分けている。そのため、活動スペースが少し狭く感じるが、安全への配慮や効果的な活動からは致し方ないと考えている。	運動道具や空気清浄機などの健康管理のために必要な機材を置く場所を更に変更、効果的にスペースの活用が出来るように取り組む。
2	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	依頼をしておらず外部評価が行われていない。	業務計画を立てつつ、評価を入れられる時間を作れるよう、システムの導入などを検討する。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか	安全面での確保が取れないことからなかなか踏み出せていない。	保護者様の協力を頂きつつ、安全に活動できるような状況を整え、他事業所との連携に取り組んでいきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス ココカラ西五所

公表日 2025年2月5日

利用児童数 44名

回収数 38

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	9	2	0	・もう少し広いスペースがあったらいいと思う。 ・人数に対してスペースが狭いと思う。	物の整理や配置を常に心がけ、安全に運動やその他の活動が行えるよう努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	35	2	0	1	・たまに少ないかなと思う時がある。	適正人数は満たしておりますが、今後余裕のある配置をおこなうようにしていきたいと思っております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	37	1	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	34	4	0	0	・これからの時期、特に感染症が気になるので、給水前やトイレ後に、消毒など徹底していただけるとありがたいと思う。	運動後や学習等の活動後には必ず手洗いの声掛けを行っております。更に徹底しておこなってきたいと思えます。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	34	2	0	2	特性に対して専門性の確信が無いので分からない。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35	1	0	2	・こちら（保護者）の勉強不足で分からない。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	37	0	0	1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	36	0	0	2	・難しいので分からない	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35	1	0	2		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	5	21	2	・特に希望していないので否定ではありません。	地域の他のこどもたちと交流する機会が少ないと思いますので地域交流の場を増やしていきたいと思えます。

保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	38	0	0	0	・毎日丁寧に説明をしていただいております。	今後も保護者様が安心していただけるように丁寧な説明を行ってまいります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	38	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	26	7	1	4	・家族等参加できる研修や情報提供がもしありましたら是非シェアしていただきたいです。	情報が入りましたら、保護者の皆様にもお伝えしていきたいと思っております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思えますか。	37	1	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	37	1	0	0	・面談ではココカラでの頑張る姿や、学校、家庭での様子をお伝えして課題を共有している。	お子様の様子や課題の情報共有を徹底し、より質の高い療育が行えるように努めてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	37	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	24	6	3	5	・経験が無いので分からない。	毎年保護者会を開催し、お母様のご参加を頂いておりますが、お父様同士の交流が難しい状況のため、お父様やご兄弟の参加がしやすい日時の検討もおこなっていきたく思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	2	0	4	・家族側から相談の申し入れをしたことがない為分かりません。 ・いつも相談にはとても親身になっていただき、相談に乗っていただけて気持ち楽になりました。	送迎時にご相談を気軽にできる環境や、送迎時以外の相談に関しても可能であることを周知できるように努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	34	1	1	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	33	1	0	4		
非 常 時 等 の 対 応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	38	0	0	0		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31	2	0	5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	36	1	0	1		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	35	1	0	2	・前が交通量が多い道路なので、子供が外へ出てしまわないようにワンクッション設置してほしい。(ゲートや上部への鍵の設置など)	上部への鍵の設置に関しまして、スタッフ間で検討の機会を設けたいと思っております。

	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	35	1	0	2	・そういった状況になったことがないのでわからない。	怪我の防止に細心の注意を払っておりますが、事故が発生した時には、速やかな連絡とご説明を徹底いたします。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	36	2	0	0	・こどもたちは楽しく通所し、自分の居場所を確保しています。それだけで十分です。	子ども達が安心して通えることを大切に今後も療育を行っていききたいと思います。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	35	3	0	0	・いつも楽しみにしている。やりたいことを尊重していただいているようで嬉しそうに帰ってきます。	子ども達の想いに耳をしっかりと傾け対話を大切にしながら、楽しみに通えるように努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	37	1	0	0		

・利用者、保護者、職員の連携、協力体制のもと、子どもたちが安心して過ごしながら学ぶ環境がアップデートされている。反面、事業所スペースや職員数、また、保護者様への情報発信等、十分とは言えない課題が出てきている。引続き課題解決に職員全員で努めていく。
 ・今回の事業所評価では、保護者様からのご意見の記入が少なかった。ご多忙中協力いただいているため多くは書けないにしろ、もっとフラットに意見を書けるようにするにはどうしたら良いかなど、書きにくさの理由を検証するとともに、相互に開かれた関係性を目指していけるように、職員間で考えていく。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス ココカラ西五所		2025年2月5日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	・スペースを必要に応じて変えている ・配置を分けるなどして広く使えるようにしている	・活動生活には適切であるが十分ではない ・利用者数が増えているため狭く感じる
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	・必要数の配置をしている ・人員配置は適切	・規定は満たしているが十分とは言えない。欠勤が出た際に柔軟に対応できる環境を整えたい。 ・絶対数を多くしていくことが必要
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	・構造化しすぎておらず、社会に出た際に柔軟に対応できるような状況を作っている	・全てにおいてバリアフリー化がなされていないため、今後出来る限り取り組みたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・清掃、換気扇、空気清浄機の稼働など、できうる限りの改善を行っている。 ・整理整頓を意識しており、子どもたちももとに元に戻すように練習している。	・子どもたちの健康を守る為、更なる改善を考えていく。 ・エアコン使用の為、湿度管理に注意。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・静養室など、必要に応じて使用可能。	・スペース等の十分な確保が課題
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	・参画している。	・社員のみで話が止まってしまうことがある為、パートさんなどの意見も聞けるように整える。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・取り組んでいる。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・機会を設けている	・枠組みはあるが、十分に機能しているかは検証を続ける。 ・言いづらい意見を把握する個別面談も必要。

	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	・運営適正化委員会とのつながりを深くしている。	・現在評価事例が無いため、時期をみて取り組みたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・確保されている。 ・オンライン研修や対面研修など、様々なものに取り組んでいる。	・職員不足の状況では実施が難しいため、人員体制の確立が必要。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・作成し公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・行われている。 ・実際に支援に入る職員が作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・行われている。	・全ての職員間の認識が深まるように改善を進める。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・行われている。	・今後システムの導入等、今以上に取り組めるように改善を進める。 ・視覚化とIT化を時代に合わせて進めていく必要がある。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・事業所で可能な範囲、また、必要性のあるものを優先して設定し取り組みを行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・午前のMTGの時間で行っている。	・パートさんへの共有が不十分な時がある。

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・常に考え、工夫し提供している。 ・時期ごとに目標を変え、毎日の活動ではアプローチを工夫している。 ・時期イベントを工夫して実施している。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の支援計画を作成し、支援を提供している。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性化しないように取組等を考えていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず行っている。 ・記録に残しながら共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性化しないように取組等を考えていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性化しないように取組等を考えていく。 ・記録業務のシステム化を進め、検証・改善により注力したい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・行っている。 	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・行っている。 ・地域交流を目指し、ゴミ拾いを行っている。 	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの中だけではなく、生活の中でも機会が増えるよう工夫する。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・会議自体が少なく、責任者のみの参加が多い。支援員の参加の機会を増やしたい。 	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	・千葉放課後連、市の支援協議会等、連携の場を広げ体制整備を図っている。	・定期的な訪問を行い、関係強化を図る必要性を感じる。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	2		・主として保護者からの情報となっている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3		・努めているが、十分な連携には至っていない。 ・定期的な訪問を行い、関係強化を図る必要性を感じる。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	・必要に応じて行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	・設けている。機会を増やしていく。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		・十分に行えていない。 ・交流の手法を検討していく必要がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	・参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・支援目標の一つとして取り組んでいる。 ・送迎時に時間が許す限り行っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・保護者会を開催している。	・回数や内容等を検討し、実現に向けて課題を整理していく。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・行っている。 ・文章と共に説明している。 	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間が取れない保護者の為にオンラインなど柔軟に対応できるように整える。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず得ている。 	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースが少ないため、相談しやすい環境を整える。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・父親の参画が少ない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・行っている。 	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・HPのブログにて行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後システムの導入等により充実を図る。 ・SNSの活用を進め、よりリアルな発信を進めたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・留意している。 ・鍵付きロッカーにて保管している。 	
44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・行っている。 		

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		<ul style="list-style-type: none"> ・現在行えていない。再開を計画する。 ・定期的な訪問を行い、関係強化を図る必要性を感じる。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・作成し訓練している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開示まで出来ていないため、開示できるように整える。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年に3回以上行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・備品等適切であるか今後も検討を続ける。 ・避難訓練の内容を更新していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスシートなどで確認している。 	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へのアレルギーの確認はしているが、医師の指示所が必要なケースは今の所なし。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も検討、改善を繰り返していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・周知している。 	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・十分なケースに至らないため、意識を含め改善を行う。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・行っている。 ・オンライン研修等に参加、事業所内に周知している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常に意識できるように研修等の見直し、改善を行う。 	

	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	・行っている。 ・契約時、保護者会の際に説明をしている。	
--	----	--	---	---	---------------------------------	--